

ジャーブネット・ビルダー連合福島**『第23回 住生活月間功労者住宅局長表彰』を受賞**

被災者の気持ちがわかる福島の地元ビルダーが力を合わせ取り組んだ応急仮設住宅に評価

「ジャーブネット・ビルダー連合福島」(代表:光建設株式会社)は、東日本大震災の被災者のために福島県内の地域材を活用した応急仮設住宅の建設を行い、その功績が認められ、第23回住生活月間功労者住宅局長表彰を受賞しました。

「ジャーブネット・ビルダー連合 福島」は、福島県内に本店を置くビルダー4社、光建設株式会社(本宮市)、有限会社玉川工務店(南相馬市)、有限会社住俱樂部(いわき市)、エス・ツー・アンザイ株式会社(郡山市)が連合を結成し、福島県からの要請を受け応急仮設住宅100戸の建設を行いました。その実績を福島県から評価いただき、このたび国土交通省が主宰する「第23回住生活月間功労者住宅局長表彰」を受賞する運びとなりました。

■ 住生活月間功労者住宅局長表彰

国土交通省では、住意識の向上とゆとりある住生活の実現及び建築物の質の向上を図るため、平成元年から毎年10月を「住宅月間」(現 住宅生活月間)と定め、各分野において活躍された個人・団体に対して「国土交通大臣表彰」及び「住宅局長表彰」を行っています。今年度はこのたびの東日本大震災により、住宅をなくされた被災者の方々のための応急仮設住宅の建設に功績を挙げた107団体が表彰されました。



※10月10日、徳島グランヴィリオホテルで行われた合同記念式典
代表の吉田(右)とジャーブネット主宰の宮沢(左)

■ 代表を務める光建設株式会社常務、吉田光徳のコメント

今回このような表彰を拝受し、ご協力いただきました方々へ心より御礼申し上げます。応急仮設住宅の建設はビルダー一社では到底出来ないことですが、ジャーブネットをはじめ、これに加盟する福島県のビルダーが志を一つに連携し、実現することができました。これからも地元のために、復興に率先して取り組んでいきたいと考えております。

同連合は日本最大のホームビルダーネットワーク「ジャーブネット」(主宰:株式会社アキュラホーム代表取締役社長宮沢俊哉、東京都新宿区)に加盟しており、応急仮設住宅建設後も「震災復興は被災者の気持ちがわかる地元工務店の手で」を合言葉に被災者の住まいに関する様々な疑問や困り事を解決するための相談窓口「住まいの相談所」を開設しています。

<本件について報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越・若林 Email: horikosi@aqura.co.jp

住所: 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 34F TEL:03-6302-5010 (直通) FAX:03-5909-5560